

北海道開発技術年表

6 営繕事業

年次	事項
S26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察予備隊施設に着工（道内各地）</li> <li>・RC 円形煙突 h=35m（警察予備隊）</li> </ul>
27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築・電気設備・機械設備各工事仕様書を制定</li> <li>・RC 造屋根に木造置小屋（警察予備隊）</li> <li>・長尺カラー鉄板葺を使用（ 〃 ）</li> <li>・浄化槽・水洗便所を設置（ 〃 ）</li> <li>・石コウボードを使用</li> </ul>
28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築工事歩掛基準を制定</li> <li>・軽量コンクリートブロックを使用</li> </ul>
29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩見沢・美唄労災病院着工</li> <li>・長尺アルミ板瓦棒葺を使用</li> <li>・合成樹脂ペイントを使用</li> <li>・甫洋材（ラワン）を使用</li> </ul>
30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌第1 地方合同庁舎着工（旧）</li> <li>・地下掘削にドラグラインを使用</li> <li>・補強コンクリートブロック造2 階建の建設</li> <li>・中央空調による暖房・冷房方式の採用</li> </ul>
31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気養生による寒中コンクリート施行（札幌第1 地方合同）</li> <li>・異形鉄筋を使用（ 〃 ）</li> <li>・鉄筋ガス圧接工事（ 〃 ）</li> <li>・ステンレス流し台を使用（住宅公団）</li> </ul>
32	<ul style="list-style-type: none"> <li>・釧路労災病院着工</li> <li>・建築・電気設備・機械設備各工事共通仕様書改定（以後4 年ごと）</li> <li>・窓ガラスに複層ガラスを使用（札幌第1 地方合同）</li> <li>・ラビットスタート形蛍光灯（ 〃 ）</li> <li>・ビニル電線を本格使用</li> <li>・直暖のゾーニング（旭川開建）</li> <li>・北海遺総合職業補導所実習場が建設省設計コンクールで局長賞</li> </ul>
33	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木ノ花団地着工</li> <li>・庁舎設計基準を制定</li> <li>・床ビニルアスベストタイル貼を採用（札幌第1 地方合同）</li> <li>・ラジオアイソトープ実験室を建設（道農業試験所）</li> <li>・生コンクリート打設（木ノ花団地）</li> </ul>
34	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気泡コンクリートを使用（函館海洋气象台）</li> <li>・軽量鉄骨造車庫の建設</li> </ul>

34	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H形交換機を採用</li> <li>・釧路労災病院が建設省設計コンクールで局長賞</li> </ul>
35	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配置計画に緑地帯（道工業開発試験所）</li> <li>・ガス風呂を使用（木ノ花団地）</li> </ul>
36	<ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌開発総合・札幌法務総合庁舎着工</li> <li>・設備工事用製品名簿化</li> <li>・開発局職員宿舎を標準化</li> <li>・金属性カーテンウォールを採用（アルミ・スチール）</li> <li>・SP板の現場打込み</li> </ul>
37	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あけぼの団地着工</li> <li>・アルミ製断熱サッシを採用（札幌法務合同）</li> <li>・バスダクト吊下げコンセントを使用（道工業開発試験所）</li> </ul>
38	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築工事重点監督容量を制定</li> <li>・機械設備工事標準図を作成</li> <li>・場所打ちコンクリート杭を施工（小樽港湾合同）</li> <li>・合成樹皮防水を採用（ 〃 ）</li> <li>・高圧キューピクルを設置（札幌法務合同）</li> <li>・ロードヒーティングを実施（道農業試験所）</li> <li>・札幌法務総合庁舎が建設省設計コンクールで局長賞</li> </ul>
39	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリートプレハブ宿舎を建設（道農業試験所）</li> <li>・TV共聴施設を設置（あけぼの団地）</li> <li>・エアシューターを設置（ 〃 ）</li> </ul>
40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌第2地方合同庁舎着工</li> <li>・蛍光灯基準化</li> <li>・PC版カーテンウォールを採用（サッシ・タイル・断熱材打込）（札幌第2地方合同）</li> <li>・恒温恒湿設備を設置（道農業試験所）</li> <li>・泡消火設備を採用</li> </ul>
41	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築製図要領を制定</li> <li>・鉄骨造に高カボルトを使用（十勝種畜牧場）</li> <li>・単位閉鎖形配電盤を使用（道農業試験所）</li> <li>・スチールコルゲートケーブルを使用（大雪青年の家）</li> <li>・XB交換機を使用（小樽開建）</li> <li>・小樽港湾合同庁舎が建設省設計コンクールで局長賞</li> </ul>
42	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鋼構造設計基準を制定</li> <li>・ダイヤモンドトラスにALC版を設置（講堂）</li> <li>・硬質ビニル電線管を使用</li> <li>・高圧蒸気による天井パネルふく射暖房を採用（警察学校）</li> </ul>
43	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎標準詳細図を作成</li> <li>・設備工事用製品名簿作成要領を制定</li> </ul>

43	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フローダクトを採用（札幌第2地方合同）</li> <li>・スプリンクラー設備を設置（ 〃 ）</li> <li>・炭酸ガス消火設備を設置（ 〃 ）</li> <li>・札幌第2地方合同庁舎が建設省設計コンクールで部長賞及び照明学会支部賞</li> </ul>
44	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック競技施設着工</li> <li>・営繕工事記録写真撮影仕様を制定</li> <li>・建築工事監督要領を制定</li> <li>・設備工事基本設計要領を制定</li> <li>・電気・機械設備工事設計図書作成要領を制定</li> <li>・大スパン架構φ103m多面体ドームを採用（真駒内屋内スケート競技場）</li> <li>・人工製氷トラック400mの建設（真駒内屋外スピード競技場）</li> <li>・電光式記録掲示板を設置（ 〃 ）</li> <li>・メタルハイランド灯十よう素灯のカクテル照明を使用（オリンピック競技施設）</li> </ul>
45	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック選手村着工</li> <li>・高温水地域暖房方式を採用（オリンピック選手村）</li> </ul>
46	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎仕上標準方式を制定</li> <li>・建築工事標準詳細図を作成</li> <li>・官庁建物実態調査要領を制定</li> <li>・軽量鉄骨天井下地（土木試験所）</li> </ul>
47	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税務署庁舎設計標準を制定</li> <li>・照明器具標準を制定</li> <li>・道産クリンカータイルを使用</li> </ul>
48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新宮庁舎に身障施設整備を実施（北見地方合同）</li> <li>・軽量鉄骨間仕切を使用</li> <li>・鋼製軽量建具を使用</li> <li>・自動力率制御装置を設置（土木試験所）</li> </ul>
49	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒地建築設計標準を制定</li> <li>・官庁建物防災点検要領を制定</li> </ul>
50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築工事施工監理指針を制定</li> <li>・法務局支部及び出張所庁舎設計標準を制定</li> <li>・身体障害者の利用のための資料集を作成</li> <li>・電子計算機室の設備設計要領を制定</li> </ul>
51	<ul style="list-style-type: none"> <li>・RC気象レーダー塔を建設（φ6.4mH=50m）（札幌气象台）</li> <li>・ステンレス配管を採用（小樽海員学校）</li> </ul>
52	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築工事数量積算基準の解説を作成（建築積算研究会）</li> <li>・新耐震設計法を制定</li> <li>・官庁建物耐震点検要領を制定</li> <li>・騒音規則によるオーガ併用杭打を施工（道警通信部）</li> <li>・節水型衛星器具を使用</li> </ul>

53	・外壁タイル型枠先付け工法を採用（函館地方合同）
54	・機械設備工事施工監理指針を制定
	・国立日高少年自然の家着工
	・江差地方合同庁舎が建設省設計コンクールで部長賞
55	・省エネルギー建築設計指針を制定
	・構内緑化指針を制定
	・構築物の維持監理の手引を作成
	・建築設備工事耐震設計資料を作成
	・新耐震設計による構造設計（室蘭開建）
	・ガスタービン発電機を採用
	・CVCF を設置（札幌気象台）
	・吸収式冷凍機を設置（札幌第2地方合同）
56	・電気設備工事施工監理指針を制定
	・裁判所庁舎設計基準の制定
	・公共建築工事標準歩掛りを制定（建築積算研究会）
	・建築工事内訳標準様式を作成（ 〃 ）
	・外断熱工法による改修を実施（大雪青年の家）
	・電子交換機設置改修（札幌開発総合）
	・蛍光灯に低消費形安定器を使用（室蘭開建）
	・地下水利用消雪装置を採用（八雲法務出張所）
57	・建築物保全業務要領を制定
	・国の建築物等の保全に関する基準を制定
	・排水再利用システム設計指針を制定
	・ビル風障害の解消に構内植栽（函館地方合同）
	・国立日高少年自然の家が建設省設計コンクールで大臣賞及び建築学会支部賞
58	・公共建築工事標準仕様書を制定
	・完成施設事後調査要領を制定
	・屋根 ALC 版にステンレス防水を施工
	・鉄筋造にショートブラストの上亜鉛系塗装を実施（道さけ・ますふ化場）
	・三次処理浄化槽を採用（法務出張所）
59	・建築物保全指導要領を制定
	・庁舎にアルミ製二重窓を使用（北見陸運）
	・屋外アスレチックコース完成（日高少年自然の家）
	・0A 室用照明器具を使用
	・フロアヒーティングを採用（北見陸運）
	・変风量ユニットを使用（小樽開建）
60	・屋根外断熱工法を採用（留萌開建）
	・ツイン蛍光ランプを使用
	・パネルヒーターを使用（大雪青年の家）

61	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄骨造高層庁舎を建設（札幌第1地方合同）</li> <li>・外壁ラスタータイルを使用（ 〃 ）</li> <li>・窓ブラインド内蔵アルミサッシを採用（ 〃 ）</li> <li>・複合GR型火報受信機を採用（ 〃 ）</li> <li>・空冷式パッケージ形空調機冷房を採用（旭川陸運）</li> </ul>
62	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営繕工事検査技術標準を制定</li> <li>・外壁レンガパネルによる外断熱工法を採用（釧路陸運）</li> <li>・さけをデザインした壁レリーフを設置（さけ・ます本場）</li> <li>・断熱施工用ダウンライトを使用</li> <li>・インバーター速度制御方式エレベータを設置（札幌第1地方合同）</li> <li>・地下鉄廃熱利用による冷暖房方式を採用（ 〃 ）</li> <li>・タンクレスブースター方式を採用（北農試）</li> </ul>
63	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官庁建物修繕措置判定手法を制定</li> <li>・アスベストの除去（大雪青年の家）</li> <li>・防災拠点としての内部改修（札幌第2地方合同）</li> <li>・システム天井を採用（札幌第1地方合同）</li> <li>・道さけ・ますふ化場本場が建設省設計コンクールで部長賞</li> </ul>
H元	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外自動広告塔を設置（札幌第1地方合同）</li> <li>・ビル風障害の解消に構内植栽（ 〃 ）</li> <li>・冷水田施設に空気熱源ヒートポンプユニットを採用</li> <li>・札幌第1地方合同庁舎が建設省設計コンクールで大臣賞</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌第3地方合同庁舎、政府専用飛行機格納庫着工</li> <li>・建築保全業務共通仕様書</li> <li>・冷凍機における特定フロン対策の手引</li> <li>・無電極ランプを使用</li> <li>・直だき吸収冷温水機を使用（西税務署）</li> <li>・函館法務総合庁舎が建設省設計コンクールで部長賞</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャッキアップ工法を採用（政府専用機格納庫）</li> <li>・外壁タイルMCR工法を採用（ 〃 ）</li> <li>・MG発電装置を採用（ 〃 ）</li> <li>・真空式温水発生機を採用</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アトリウムを設置（ケアプラザ岩見沢）</li> <li>・アトリウムに床幅射暖房を採用、全館スプリンクラー消火設備を採用（ケアプラザ岩見沢）</li> <li>・ノンフロン硬質ウレタンフォームを使用（政府専用機格納庫、札幌第3地方合同庁舎）</li> <li>・鉄筋コンクリート建築物における床型枠用鋼製デッキプレートを使用（北海道開発局研修センター）</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上ヘリポートを設置（札幌第3地方合同庁舎）</li> <li>・針葉樹を使用した型枠用合板を使用（釧路職業安定所）</li> <li>・無重力実験装置を設置（工業技術研究所）</li> </ul>

6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「建築保全業務積算基準」を制定</li> <li>・「建築工事工期算定指針」を制定</li> <li>・メッシュ型枠工法を採用（札幌北税務署）</li> <li>・高齢者・身障者が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律（ハートビル法）が施行</li> <li>・極低温室（-80℃）を建設（北農試羊が丘）</li> <li>・新入札制度の導入（営繕部で初めて一般競争入札・公募型指名競争入札を実施）</li> <li>・「外壁に関する断熱効果についての調査研究」を実施</li> <li>・札幌第3地方合同庁舎が建設省設計コンクールで官庁営繕部長賞</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「建築工事安全施行技術指針」を制定</li> <li>・免震構法を採用（釧路地方合同庁舎）</li> <li>・レンガパネル打込断熱工法、フッ素処理断熱サッシュを採用、LOW-E ガラスを採用（稚内地方合同庁舎）</li> <li>・9施設で防災改修工事を実施（耐震補強、生活給水・燃料の備蓄、受変電自家発改修）</li> <li>・0Aフロアに改修（札幌第1・第2地方合同庁舎）</li> <li>・主要工事の数量全数公開実施</li> <li>・プロポーザル方式による設計事務所選定（動物検疫所、留萌開発建設部、大雪青年の家食堂棟）</li> <li>・「外断熱建物の実施設計上の問題点と検討委員会」を設置</li> <li>・ケアプラザ岩見沢が建設省設計コンクールで官庁営繕部長賞</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「建築設備計画基準」を制定</li> <li>・「官庁施設の総合耐震計画基準」を制定</li> <li>・改修に適したアスファルト防水、トーチ工法を採用（旭川中税務署）</li> <li>・新省エネ基準に基づいた断熱設計、給水システムにサヤ管ヘッター方式を採用（岩内職業安定所職員宿舎）</li> <li>・レンガタイル積上げ張り外断熱工法を採用（中頓別簡易裁判所）</li> <li>・洗浄水に雨水利用、駐車場換気にデリベント方式を使用、アナログ火災感知器を採用（釧路地方合同庁舎）</li> <li>・河川への放流水に紫外線滅菌装置を設置</li> <li>・営繕積算システム（RIBC）の運用開始</li> <li>・公共事業支援総合情報システム（建設 CALS）の実証フィールド実験実施</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営繕部コスト縮減推進委員会設置</li> <li>・共通仕様書の改訂</li> <li>・設計VE試行（札幌北公共職業安定所）</li> <li>・ガラスカーテンウォール（DJP工法）を採用（札幌東税務署）</li> <li>・コーナーボルト工法ダクト採用（札幌東税務署）</li> <li>・機械式（2段）駐車装置採用（苫小牧食料事務所）</li> <li>・エスカレータ設備採用（釧路地方合同庁舎）</li> </ul>

10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旭川シビックコア地区整備計画策定</li> <li>・「第一回環境・景観に配慮した事例研究会」で、小樽公共職業安定所が北海道開発局長賞を受賞</li> <li>・建設省営繕設計コンクールで、小樽公共職業安定所が官庁営繕部長賞を受賞</li> <li>・グリーン化改修（池田税務署）</li> <li>・木造PT工法を採用（十勝牧場畜舎）</li> <li>・高調波計設置（釧路地方・家庭裁判所）</li> <li>・エコ電線、エコケーブル採用（さけ・ます八雲事業所）</li> <li>・情報表示装置（LED）、ハーフサイズブレーカー採用（札幌北職業安定所）</li> <li>・蛍光管リサイクル、避雷器内蔵PAS採用（岩見沢地方合同庁舎）</li> <li>・新ガス消火設備（パッケージ形）採用（札幌第1合同庁舎）</li> <li>・脱臭式ユニットトイレ採用（釧路地方・家庭裁判所）</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八雲シビックコア地区整備計画策定</li> <li>・名寄工業高校で、出前講座を開催</li> <li>・「外断熱建物に関する検討業務」外部委員会を設置</li> <li>・エスカレータ、パブリックアート、ネオンを採用（釧路地方合同庁舎）</li> <li>・天然素材塗材（ホタテの粉末、粃殻）採用（千歳公共職業安定所）</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「北海道長期営繕ビジョン」の策定</li> <li>・公募型プロポーザル方式による設計者選定を導入（3件）</li> <li>・委託設計VE試行（旭川地方合同庁舎）</li> <li>・設計委託監理マニュアルの試行（4件）</li> <li>・VOC対策を開始</li> <li>・ハートビル改修工事で、機械室レスタイプのエレベータを採用（帯広地方合同庁舎）</li> <li>・集水管にスパイラルスクリーン管を採用（さけ・ますふ化場 知内）</li> <li>・歩道舗装に、自然砂舗装（ペーブサンド）を採用（釧路地方合同庁舎）</li> <li>・オープンネットワーク中央監視装置設置（産業総合研究所バイオ棟）</li> <li>・水熱源ヒートポンプ空調システム採用（ 〃 ）</li> <li>・密閉式冷却塔設置（ 〃 ）</li> <li>・公共建築設計懇談会制定開催</li> <li>・免震構造採用（釧路地家裁・釧路合同）</li> </ul>
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官庁施設の基本的性能基準策定</li> <li>・旭川地方合同庁舎着手</li> <li>・既存施設の高度バリアフリー整備</li> <li>・簡易化庁舎（釧路地方法務局北見支局）</li> <li>・マネジメント改革着手</li> <li>・照明昼光利用制御装置、高調波計脱臭装置付ユニットトイレ採用（釧路地方簡易裁判所）</li> <li>・外気冷房システム採用（旭川法務支局名寄出張所）</li> <li>・官庁施設の基本的性能基準制定</li> <li>・CALS実証フィールド実験の実施</li> </ul>

13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ IS09000 シリーズ適用工事</li> <li>・ 契約後 VE 方式の試行</li> <li>・ 外断熱工法の無機物繊維系断熱材採用</li> </ul>
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耐震改修（防災・技術センター）</li> <li>・ 官庁営繕関係技術基準類等統一基準</li> <li>・ 官庁営繕事業コスト構造改革プログラム策定</li> <li>・ 既存ストックの有効活用（伊達地方合同庁舎）</li> <li>・ 既存施設に大型太陽光発電装置設置（札幌第1合同庁舎）</li> <li>・ 本格的な外断熱改修（釧路港湾合同庁舎）</li> <li>・ 灯油エンジンヒートポンプの採用（釧路法務北見支局）</li> <li>・ グリーン診断開始（H14～16、全 95 件）</li> </ul>
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PFI 事業実施方針（苫小牧法務総合庁舎）</li> <li>・ 公共建築の日創設</li> <li>・ 産・学・官による共同研究施設（産総研北海道センター）</li> <li>・ 外断熱建物に関する性能基準制定</li> <li>・ 空調システムのインバーター化（札幌第2合同庁舎）</li> <li>・ 空気熱源ヒートポンプユニットの採用（函館税務署）</li> <li>・ 協約形 2P ブレーカ採用、ステンレス給水管の採用、ナイトパージ空調の採用、直結給水増圧ポンプ採用（帯広公共職安）</li> <li>・ 地域暖房による熱供給、地震時受水タンク受けピット設置、（北海道警察機動隊庁舎）</li> <li>・ 外断熱建物に関する性能基準制定</li> </ul>
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工務検査課廃止、技術・評価課設置</li> <li>・ 保全指導・監督室設置</li> <li>・ 営繕グリーンプログラム策定</li> <li>・ LCC02 を採用（旭川合同Ⅱ期、花咲港湾合同）</li> <li>・ PFI 事業契約締結（苫小牧法務総合庁舎）</li> <li>・ 施設説明資料作成</li> <li>・ マイクロガスタービン常用発電、トイレ洗浄水に井水利用、災害時排水切替電動弁設置（旭川地方合同庁舎）</li> <li>・ 壁サッシ形太陽光発電装置、床吹き出し空調の採用（旭川東税務署）</li> <li>・ 簡易化庁舎でパッケージ型空調採用（札幌法務局小樽支局）</li> <li>・ 国家機関の建築物対象とした保全実態調査の実施</li> <li>・ 公共工事の品質確保の促進に関する出前講座実施</li> </ul>
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 煉瓦造建物の保存・活用にかかる検討会、ユニバーサルデザイン検討懇談会（旭川合同庁舎Ⅱ期整備事業）</li> <li>・ 景観評価試行事業、景観アドバイザー会議、景観形成検討懇談会（室蘭法務総合庁舎整備事業）</li> <li>・ 街並み環境計画懇談会（苫小牧法務総合庁舎整備事業）</li> <li>・ ESCO 事業実施マニュアル取りまとめ</li> </ul>

17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物点検マニュアル作成</li> <li>・曳き家工事（伊達簡易裁判所仮庁舎）</li> <li>・重点監理説明書作成</li> <li>・空調設備モニタリング装置を一部採用（花咲港湾合同庁舎）</li> <li>・保全業務支援システム（BIMMS-N）運用開始</li> <li>・官庁施設コールセンター開設</li> </ul>
18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設見学会、現場見学会、街並み環境計画懇談会（苫小牧法務総合庁舎整備事業）</li> <li>・地域連携懇談会（小樽地方合同庁舎整備事業）</li> <li>・起工報告会、ユニバーサルデザイン検討懇談会、市町村フェア、現場見学会、まちづくり推進会議（旭川合同庁舎Ⅱ期整備事業）</li> <li>・景観アドバイザー会議、景観形成検討懇談会、現場見学会（室蘭法務総合庁舎整備事業）</li> <li>・営繕技術コンクール 札幌法務局静内出張所（部長賞）</li> <li>・VAV 制御方式空調の本格採用 簡易形総合監視盤の採用（室蘭法務総合庁舎）</li> <li>・半強制通風方式による中間期冷房（札幌法務局岩見沢支局）</li> <li>・災害時緊急排水切替装置採用（小樽開発建設部）</li> <li>・地球温暖化対策の政府実行計画に対する所管施設への技術支援</li> <li>・品質管理協議会の設置（旭川合同庁舎Ⅱ期、室蘭法務総合庁舎）</li> </ul>
19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道官庁施設等地球温暖化対策連絡会議の設置</li> <li>・室蘭法務総合庁舎完成（景観形成検討懇談会）</li> </ul>
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官庁営繕の積雪・寒冷地設計基準を制定</li> <li>・北海道洞爺湖サミット国際メディアセンター整備事業（3R※の取組、雪冷房システムの採用） ※リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再資源化）</li> <li>・釧路地方合同庁舎において「公共建築の日」のイベントを開始</li> <li>・旭川地方合同庁舎Ⅱ期完成（ユニバーサルデザイン検討懇談会）</li> </ul>
21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織改正（営繕積算調査官、建築課、設備課、営繕調査官の廃止 営繕調整課、営繕整備課、営繕品質調査官の新設）</li> <li>・札幌開発総合庁舎耐震改修（免震レトロフィット）</li> <li>・小樽地方合同庁舎完成（防災拠点、グリーン庁舎、ユニバーサルデザイン、地域連携懇談会）</li> <li>・「北海道洞爺湖サミット国際メディアセンター」2009年度グッドデザイン賞受賞</li> </ul>
22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が施行</li> <li>・八雲地方合同庁舎完成（八雲シビックコア地区、地域連携懇談会）</li> </ul>
23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道警察学校生徒寮（A棟）完成</li> <li>・LED 照明器具を庁舎照明に採用</li> </ul>
24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営繕積算システム（RIBC2）の運用開始</li> </ul>
25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌南税務署完成（大規模リニューアル）</li> <li>・インフラ長寿命化計画（行動計画）の策定</li> <li>・見積活用方式の運用開始</li> </ul>

26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「雨水の利用の促進に関する法律」が制定</li> <li>・官庁施設情報管理システム（BIMMS-N）へ再構築</li> </ul>
27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道警察学校生徒寮（B棟）完成</li> <li>・「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」が制定</li> <li>・外断熱建物に関する性能基準を改定</li> </ul>
28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海上保安釧路航空基地完成（ヒートポンプ給湯機の採用）</li> </ul>
29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宗谷森林管理署完成（木造）</li> <li>・えりも自然保護官事務所（木造）</li> </ul>
30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国立アイヌ民族共生象徴空間の整備を開始</li> <li>・慰霊行事を行うための施設完成</li> <li>・PFI事業契約期間満了（苫小牧法務総合庁舎）</li> </ul>
R元	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帯広第2地方合同庁舎完成（既存庁舎の一部活用、地域連携懇談会）</li> <li>・北海道警察学校術科棟完成（ヒートポンプ給湯機の採用）</li> <li>・国立アイヌ民族博物館完成（地中熱ヒートポンプの採用）</li> <li>・体験交流ホール完成</li> <li>・墓所となる建物完成</li> <li>・官庁営繕の積雪・寒冷地設計基準の廃止</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外断熱建物に関する性能基準を改定</li> <li>・官庁営繕の積雪・寒冷地設計基準を廃止</li> </ul>